

発表日 平成24年12月17日

担当課:商工部新産業・技術振興課
直通:092-643-3448
内線:3735、3737
担当者:古川、秋田

フランス国会「科学技術選択評価議員会議」が福岡県の水素関連施設を訪問します！

福岡県では、他の地域に先駆けて水素関連技術の集積と産業の育成を図り、水素エネルギー・燃料電池分野を本県の成長産業にするため、「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」を展開しています。

平成24年12月19日(水曜日)から21日(金曜日)までの3日間にわたり、フランス国会 ローラン・カリノフスキー下院議員とジャン・マルク・パストール上院議員が福岡県の水素関連施設を訪問します。

両議員は、フランス国会「科学技術選択評価議員会議」※を代表して、水素エネルギーにかかる海外の実情を視察する目的で来日されるもので、5日間の全行程のうち3日間を割いて福岡の水素関連施設を見学します。

初日19日(水曜日)には、服部誠太郎(はっとりせいたろう)副知事への表敬訪問を予定しています。

【訪問概要】

日程

平成24年12月19日(水曜日)から21日(金曜日)

※ 服部副知事表敬訪問は、12月19日(水曜日)16時30分から(於:服部副知事室)

訪問者

国民議会(下院)議員 Mr. Laurent KALINOWSKI(ローラン・カリノフスキー)

元老院(上院)議員 Mr. Jean-Mark PASTOR(ジャン・マルク・パストール)

見学行程

別紙のとおり

※ 「科学技術選択評価議員会議(OPECST)」

国が決定する科学技術政策方針を独立した立場で評価するため、1983年にフランス国会内に設立された組織。情報を収集し、その検証を行い、科学技術支援策がもたらした影響を明らかにし、国会に報告する。

<見学先施設とその概要>

	行程	説明	
19日 (水)	13:00	九州大学伊都キャンパス (福岡市西区元岡)	
		九州大学水素エネルギー国際研究センター	産業界からの技術相談窓口。水素・燃料電池分野の駆け込み寺。
		九州大学次世代燃料電池産学連携研究センター (NEXT-FC)	経産省イノベーション拠点立地支援事業(「技術の橋渡し拠点」整備事業)により整備。産学連携研究施設の整備により次世代燃料電池の開発・実用化を加速。
		産業技術総合研究所 水素先端材料科学研究センター (HYDROGENIUS)	世界各国の水素材料研究者が集結する国家プロジェクト。7年間で100億円超規模の水素材料・物性研究を実施。
	15:30	九州大学水素ステーション見学	再生可能エネルギーを利用した水電解による水素製造を目指す実証を実施。
16:30	福岡県庁 (福岡市博多区東公園)	服部副知事表敬	
16:50			
20日 (木)	10:00	東田地区 (北九州市八幡東区)	
		北九州水素ステーション見学	「福岡水素戦略」の社会実証事業。製鉄所副生水素をパイプラインで直接供給する日本初の水素ステーション
		北九州水素タウン見学	同じく、製鉄所副生水素をパイプライン供給により本格利用する世界初の実証サイト
	12:00		
	15:30	福岡ブルータワー見学 (大牟田市健老町)	世界初の本質バイオマスによる商用の水素製造プラント
16:45			
17:45	鳥栖水素ステーション (鳥栖市轟木町)	国内初の本質バイオマスから水素を製造、供給するパッケージタイプの可搬式水素ステーション	
18:30			
21日 (金)	10:00	(公財)水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC) (糸島市富)	公的機関として日本で唯一の水素関連製品の試験機関
	10:50		
	11:00	福岡水素タウン見学 (糸島市南風台)	「福岡水素戦略」の社会実証事業。エネファーム150台を集中設置して7年間にわたり省エネ効果を検証する世界最大規模の水素タウン
	11:40		